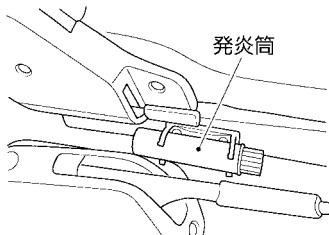


●発炎筒の使いかた	186
●道路で故障したときは	187
安全な場所に退避できないとき	187
一般の道路で故障したとき	187
高速道路や自動車専用道路で故障したとき	187
踏み切りや交差点でエンストしたとき	188
踏み切りで出られないとき	188
●けん引するときは	189
他車にけん引してもらうとき	189
後ろ側のフックについて	190
●オーバーヒートしたときは	191
●バッテリーがあがったときは	192
●ヒューズを交換するときは	194
●電球（バルブ）を交換するときは	196
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	202
格納場所	202
スペアタイヤ	203
ジャッキアップのしかた	205
●パンクしたときは	208
タイヤ交換のしかた	208
●事故がおきたときは	212

発炎筒の使いかた

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

①運転席横のホルダーから発炎筒を外します。



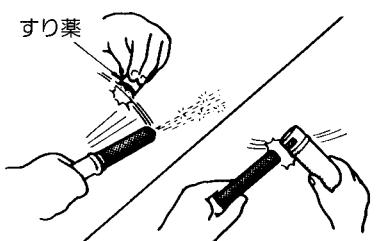
TSC0994Z

②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TSC0995Z

③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TSC0996Z



警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。



知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

道路で故障したときは

道路で故障したときは、必ず安全な場所に車を退避させてください。

ただちに非常点滅表示灯などで、後続車に危険を知らせてください。

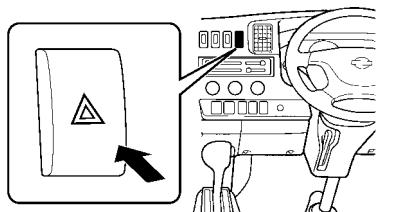
安全な場所に退避できないときは

車が安全な場所に移動できないなど緊急を要するときは、発炎筒で後続車に知らせてください。

○発炎筒の使いかた…186ページをお読みください。

一般の道路で故障したときは

- ①車を広場や路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させてください。
- ②安全を確保後、救援を頼みます。



TSE0227Z

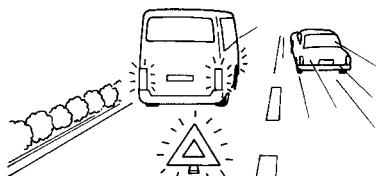


アドバイス

- ・動けないときは、付近の人に押してもらい、安全な場所に移動してください。

高速道路や自動車専用道路で故障したときは

- ①車を路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させ、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置いてください。



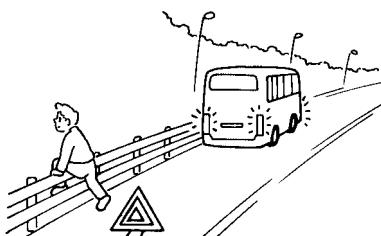
TSC0997Z



知識

- ・停止表示板（停止表示灯）の表示は法律で義務づけられています。
- ・停止表示板（停止表示灯）は車載されていませんので、必要に応じて準備してください。

- ②全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

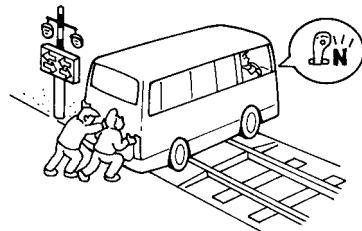


TSC0998Z

- ③安全を確保後、救援を頼みます。

踏み切りや交差点で エンストしたとき

- ①あわてずエンジンをかけ直してみます。
- ②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい安全な場所に移動してください。このときオートマチック車はセレクトレバーをNに、マニュアル車はシフトレバーをNにしてください。



TSC0999Z

- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。



注意

- エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなりますので注意してください。

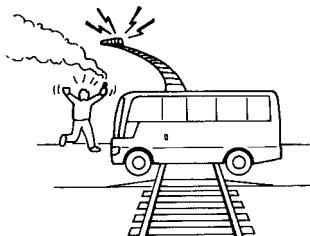


アドバイス

- マニュアル車はギヤを1又は2に入れてクラッチペダルを踏まずにキースイッチをSTART位置で保持すれば、少しなら車を動かすことができます。
- 緊急時以外は行わないでください。

踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
 - ②車に備え付けの発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。
- 発炎筒の使いかた…186ページをお読みください。



TSC1000Z

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

他車にけん引してもらうとき



注意

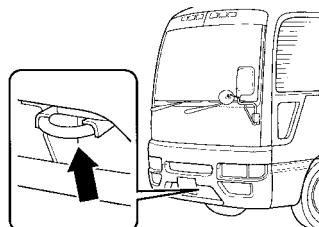
- ・けん引してもらうときは、キーを抜かないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。
- ・エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなりますので注意してください。
- ・長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。



アドバイス

- ・オートマチック車をけん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- ・けん引ロープはできるだけソフトロープをお使いください。

- ①自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。



TSC1001Z



注意

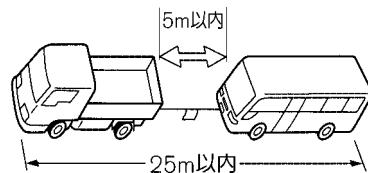
- ・指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。



アドバイス

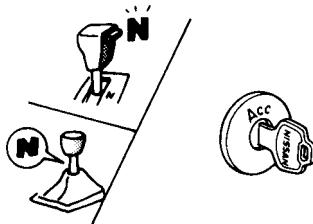
- ・ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けしてください。

- ②ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず付けてください。



TSC1002Z

- ③オートマチック車はセレクトレバーをNに、マニュアル車はシフトレバーをNにします。
キースイッチをAcc又はONにしてください。



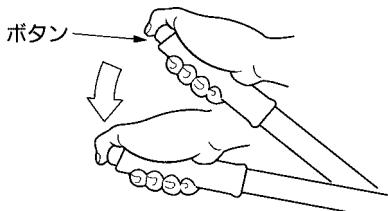
TCA0445Z



注意

- マニュアル車はキーをLOCK位置のままにしないでください。キーが抜け、ハンドルがロックし、操作できなくなるおそれがあります。

- ④パーキングブレーキを解除します。



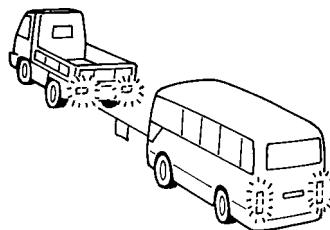
TSC0850Z



警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキが過熱して効かなくなるおそれがあります。

- ⑤けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TSC1545Z



知識

- 前の車のブレーキに合わせてブレーキを踏むと、ロープをたるませない運転ができます。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは車両輸送時の固定用です。けん引には絶対に使わないでください。
この車で他車をけん引することはできません。



アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

オーバーヒートしたときは



警告

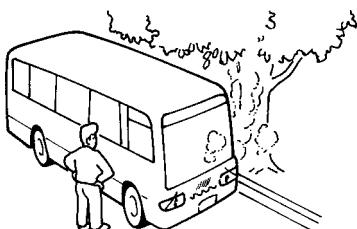
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときは、エンジンカバーを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。蒸気が出でていないときでも高温の部分があるので、エンジンカバーを開けるときは十分に注意して開けてください。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

①水温計の針がオーバーヒートの範囲を示したときは、ただちに安全な場所に車を止めてください。

○水温計…72ページをお読みください。

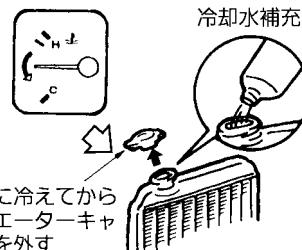
②エンジンをかけたままエンジンカバーを開け、風通しをよくして冷えるの待ちます。

万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め自然冷却してください。



TSC1004Z

③水温計の針が下がってきたらエンジンを止めしばらく待ちます。エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



TSH0125Z

④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

○ラジエーターとリザーバータンクの位置は、エンジンルーム内配置図…218ページをご覧ください。

アドバイス

- 冷却水や冷却ファンなどに異常がない状態でたびたびオーバーヒートするときは、日産販売会社にご相談ください。
- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクラントを交換してください。

バッテリーがあがったときは

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗い。
- ・ホーンの音が小さい。又は鳴らない。

●処置のしかた

12V仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

- ①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車（あがった）バッテリーの \oplus 端子
②救援車（正常な）バッテリーの \oplus 端子

2本目

- ③救援車（正常な）バッテリーの \ominus 端子
④自車の車体（バッテリーから離れたスリングバーなど）

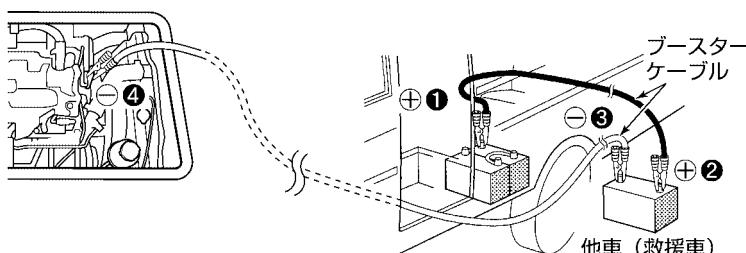
警告

- ・ブースターケーブルは、自車バッテリーの \ominus 端子に直接つながないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- ・ブースターケーブルの \oplus 端子と \ominus 端子を接触させないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

- ②救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。

- ③自車のエンジンをかけます。

- ・エンジンをかけるときは、ヘッドライトやヒーター、クーラー、エアコンなどは切ってください。
- ・エンジンが始動しても、しばらくヒーター、クーラー、エアコンやオーディオなどを使わないでください。



④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤早めに日産販売会社で点検を受けてください。



警告

- ・バッテリーを充電するときは、換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- ・バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をした後、医師の診療を受けてください。



アドバイス

- ・押しがけでの始動はできません。
- ・バッテリーを交換するときは、バッテリー上面にある記号（バッテリー型式）が同じ物と交換してください。
- ・バッテリー2個積み車のバッテリーを交換するときは、両方の \ominus 端子を外した後、 \oplus 端子を外してください。



注意

- ・ブースターケーブルをつなぐ順番と位置は必ず守ってください。誤ったつなぎかたをすると焼損するおそれがあります。
- ・④の接続は、バッテリーから離れた車体アース（スリンガーなど）に接続してください。
- ・ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないよう注意してください。
- ・ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないよう、確実につないでください。
- ・ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

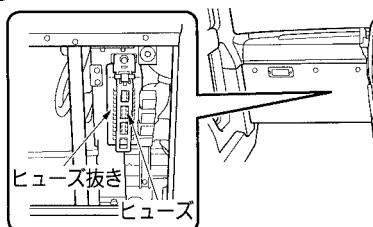
ヒューズを交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

●ヒューズボックスの位置

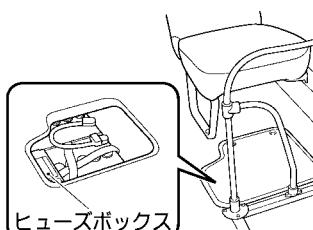
ヒューズボックスは、助手席前のパネル内Ⓐと、客席ドア右側の床下Ⓑと、車両前方天井にある吸い込み口内Ⓒにあります。

Ⓐ



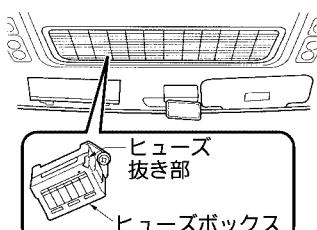
TSC1007Z

Ⓑ



TSC1008Z

Ⓒ



TSC1009Z

●ヒューズの位置

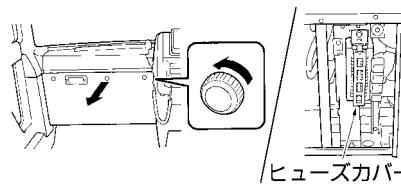
- Ⓐは、取り外したパネルの裏側に表示してあります。
- Ⓑ、Ⓒは、ヒューズボックスのふたに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

●ヒューズの交換のしかた

①キースイッチを LOCK 位置にします。

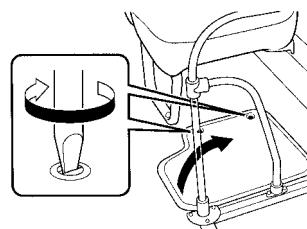
②ヒューズボックスを開けます。

- Ⓐは、パネル表面のネジ(3ヶ所)を回してパネルを外します。



- Ⓑは、お手持ちのマイナスドライバーなどでネジ(2ヶ所)を外して床のふたを開けます。

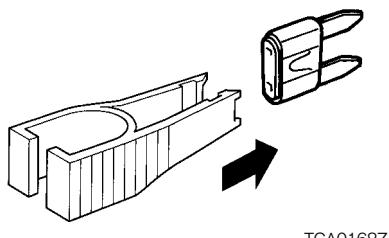
*幼児車、観音扉付車はドライバーが搭載されています。



TSC1011Z

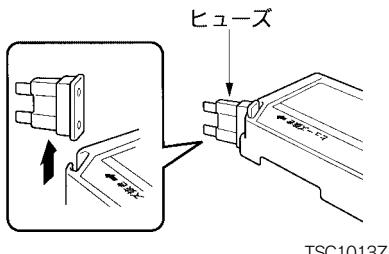
- ②は、クリップとネジを外して吸い込み口のカバーを外します。
- ③クリップの脱着…119ページをお読みください。
- ③ヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。
- ④Ⓐ、Ⓑのヒューズは、Ⓐについているヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜きます。
- ⑤Ⓐは、ヒューズボックスカバーのヒューズ抜き部分を差し込んで引き抜きます。

Ⓐ、Ⓑのヒューズ



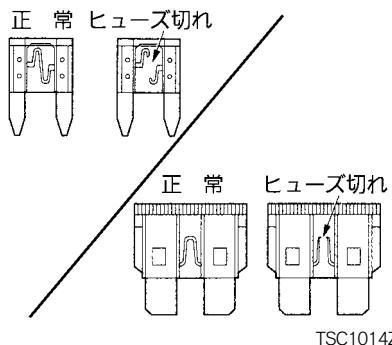
TCA0168Z

Ⓐのヒューズ



TSC1013Z

- ④ヒューズが切れているときは、同じ容量のスペアヒューズと交換します。



TSC1014Z



警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。



アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- スペアヒューズがない容量のヒューズが必要なときは、日産販売会社で購入後、交換してください。



知識

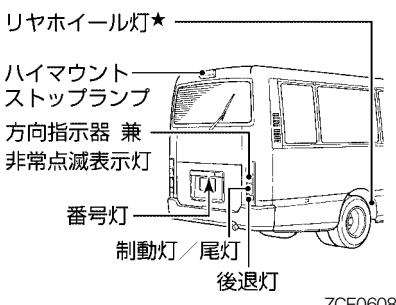
- ヒューズの種類により、ヒューズの内部形状が異なります。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- ・バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

●外装ランプの位置



*イラストはトランク付車です。

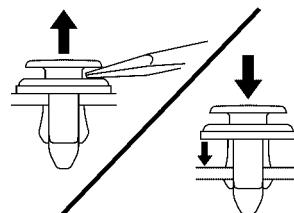
- ・以下のバルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ・番号灯（幼稚車及び観音扉車）
- ・リヤホイール灯★

●クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。

以下の方法で、各クリップを脱着してください。

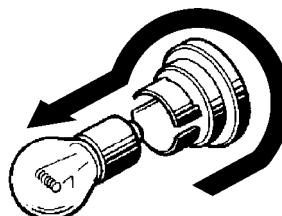
- ・切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- ・取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



ESG0745Z

●バルブの外しかた

各バルブ（前照灯〔ヘッドライト〕、フォグランプを除く）をソケットから外すときは、バルブを押し込みながら反時計回りに回して引き抜きます。



ESH0156Z

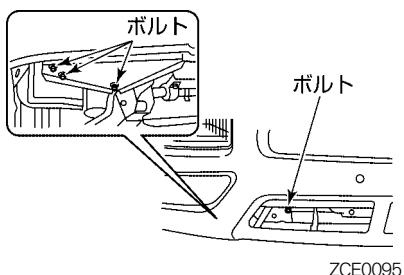
●アンダーカバーの外しかた

以下のバルブを交換するときは、アンダーカバーを外す必要があります。

*前照灯

*フォグランプ

バルブを交換する側のカバーのボルト（運転席側：4本、助手席側：3本）をお手持ちの工具で外します。



●バルブ交換のしかた

- ・交換をする前にバッテリーの端子を外してください。
- ・指定された容量のバルブに交換してください。
- 電球（バルブ）の容量…216ページをお読みください。
- ・交換したあとは、点灯することを確認してください。点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。



注意

- ・バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- ・バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ・ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

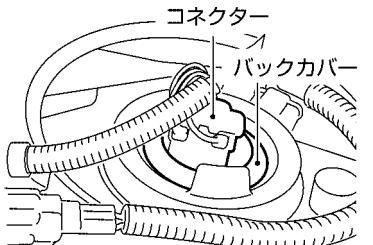


アドバイス

- ・外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- ・バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。
- ・ハロゲンヘッドライトのバルブは、バルブ内の圧力が高く、落としたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分注意してください。

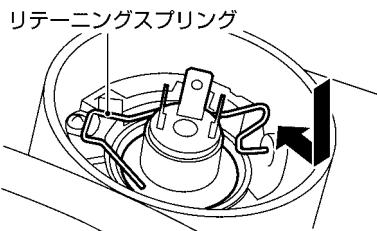
前照灯

- ①アンダーカバーを取り外します。
- ②アンダーカバーの外しかた…197
ページをお読みください。
- ③コネクターを外します。
- ④バックカバーを外します。



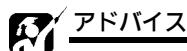
ZCE0097

- ④リテーニングスプリングのロックを外し、バルブを交換します。



ZCE0096

- ⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

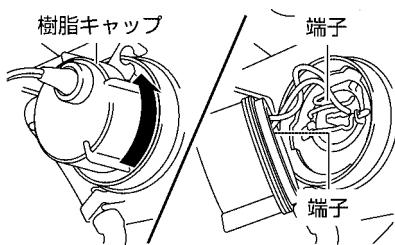


アドバイス

- ・リテーニングスプリングが必ず固定されたことを確認してください。
- ・バックカバーは確実にはめ込まれていることを確認してください。
ヘッドライト内に水が入るおそれがあります。

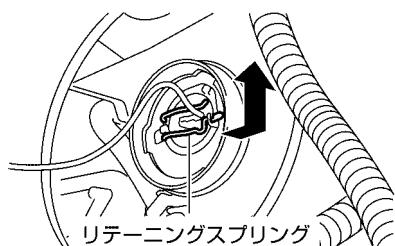
フォグランプ★

- ①アンダーカバーを取り外します。
- ②アンダーカバーの外しかた…197
ページをお読みください。
- ③樹脂カバーを反時計回りに回して外し、端子を外します。



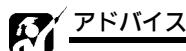
ZCE0122

- ④リテーニングスプリングのロックを外し、バルブを交換します。



ZCE0123

- ⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

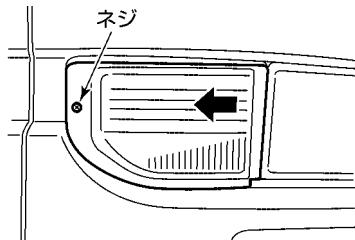


アドバイス

- ・リテーニングスプリングが必ず固定されたことを確認してください。

方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）、
車幅灯★、車幅灯兼コーナーリングラン
プ★

①お手持ちの工具でネジを外し、ランプを車両外側に引いて外します。



ZCE0098

②交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

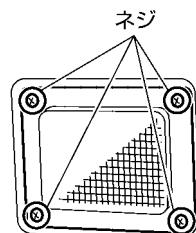
車幅灯★
車幅灯 兼 コーナーリングランプ★

ZCE0099

③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

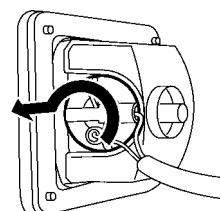
方向指示器兼非常点滅表示灯（側方）

①お手持ちの工具でネジを外し、ランプを外します。



ZCE0100

②ソケットを反時計回りに回して外し、バルブを交換します。

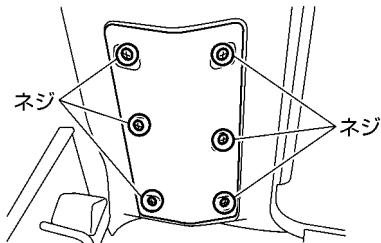


ZCE0101

③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

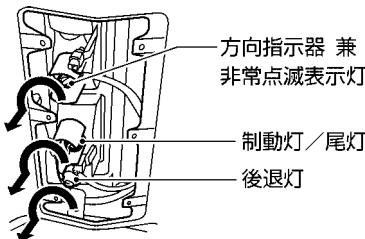
制動灯、尾灯、方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）

- ①トランク又は観音扉を開けます。
- ②観音扉付車は、お手持ちの工具でネジを外し、カバーを外します。



ZCE0102

- ③交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して外し、バルブを交換します。



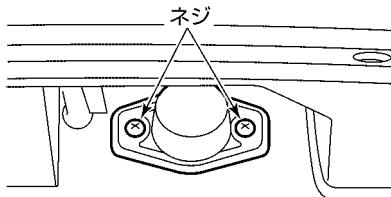
ZCE0103

- ④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

番号灯

〈トランク付車〉

- ①お手持ちの工具でネジを外し、レンズを外します。



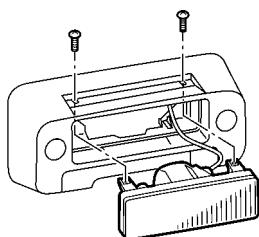
ZCE0104

- ②バルブを交換します。
- ③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

ハイマウントストップランプ注意

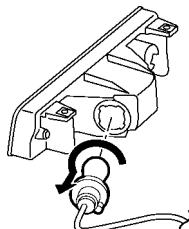
- ・ハイマウントストップランプのバルブを交換するときは、踏み台などから足を踏み外さないように気をつけてください。思わぬケガをするおそれがあります。

①ネジをお手持ちの工具を使って外し、ランプを外します。



ZCE0091

②ソケットを反時計回りに回して外し、バルブを交換します。



ZCE0092

③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

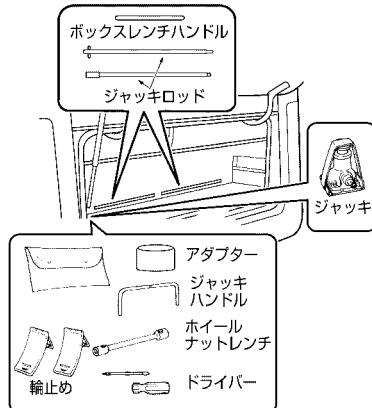
工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所

工具、ジャッキは、トランクルーム又は、車内に格納されています。スペアタイヤは、車両後方床下に格納されています。

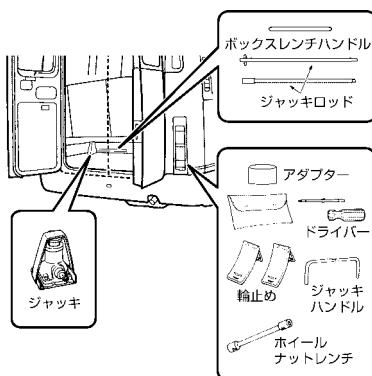
トランク付車

トランク内にあります。



ZCE0606

観音扉付車



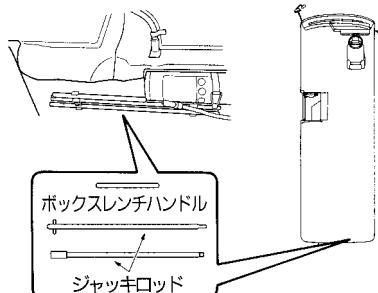
ZCE0609

幼児車

車両前方左側と運転席後方及び車両後方右側にあります。

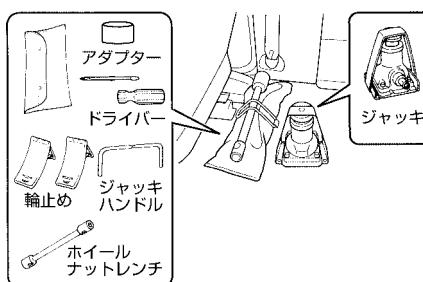
*エアバッグ付車、標準尺 41 人乗り車、長尺車は、ボックスレンチハンドル、ジャッキロッドは車両後方右側にあります。

(車両前方左側) (車両後方右側)

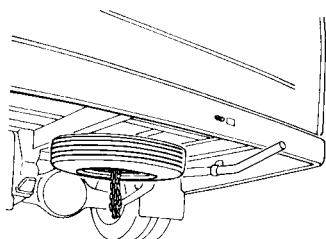


TSC1019Z

運転席後方



ZCE0611

スペアタイヤ

TSC1021Z

**注意**

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使った後は、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

**知識**

- 停止表示板（停止表示灯）は標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

スペアタイヤ

スペアタイヤは前輪用の車両装着用タイヤを搭載してあります。

**注意**

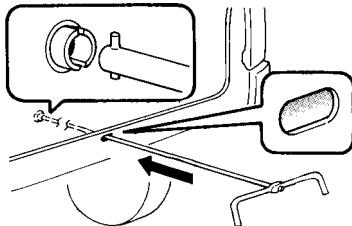
- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。（スペアタイヤの空気圧はドア開口部のラベルに表示）
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- 後輪タイヤがパンクした場合は、スペアタイヤを一時的に使い、できるだけ早く元に戻してください。

●スペアタイヤの取り出しかた

- ①ジャッキロッドを奥の溝に差し込みます。



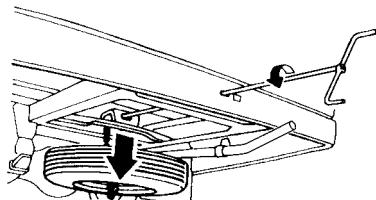
TSC1022Z



知識

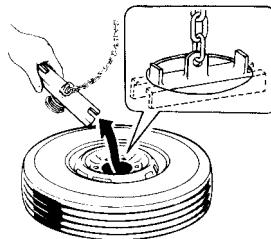
- ・ジャッキハンドルとジャッキロッドをつないでから操作します。
- ・ジャッキハンドルのセットのしかた
…206ページをお読みください。

- ②ジャッキハンドルを反時計方向に回し、チェーンがたるむまでタイヤを降ろします。



TSE0289Z

- ③スペアタイヤハンガーを外して、スペアタイヤを取り出します。



TCB0049Z

*格納するときは、タイヤの外側を上にして、スペアタイヤハンガーに取り付け、取り出したときと逆の手順で行ってください。



注意

- ・ハンガーやハンガー取り付け部に異常があるときは、日産販売会社で修理してからお使いください。
- ・ジャッキアップ中はスペアタイヤの脱着を行わないでください。
- ・タイヤは重いので、取り出すときは正しい姿勢で行ってください。
- ・スペアタイヤを格納するときは、確実に取り付けてください。タイヤが外れるおそれがあります。
- ・指定タイヤ以外のタイヤは固定が不確実となるため装着しないでください。

ジャッキアップのしかた



警告

- ・ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり、非常に危険です。
- ・ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
- ・ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
 - ・ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
 - ・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - ・使用前にパーキングブレーキをかけ、オートマチック車はセレクトレバーをPに、マニュアル車はシフトレバーをRにしてください。
 - ・輪止めなどで車を固定してください。
 - ・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - ・人や荷物は必ず車から降ろしてください。



注意

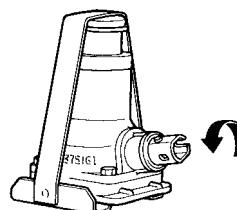
- ・後ろ側をジャッキアップするときは、トランクルーム又は、室内に格納搭載されている工具のアダプターを必ず使用してください。
- 工具の格納位置は、格納場所…202ページをお読みください。

●ジャッキの取り出しかた

観音扉付車は最後席下、幼児車は車内、トランク付車はトランクルーム内にあります。

○ジャッキの格納位置は、格納場所…202ページをお読みください。

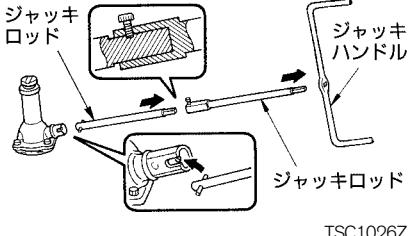
- ・取り出すときは、ジャッキハンドル取り付け部を手で回してゆるめ、ジャッキホルダーから外します。
- ・格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締め付けます。



TSC1024Z

●ジャッキハンドルのセットのしかた

- ①2本のジャッキロッドを接続し、ドライバーを使用してネジを締めます。
- ②ジャッキにジャッキロッドとジャッキハンドルをセットします。



注意

- ・ジャッキロッドは、必ずネジを締めてから使用してください。回転中に外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- ・ジャッキハンドルを回すときは、両手でしっかりと握って回してください。回転中に外れると思わぬケガをするおそれがあります。



アドバイス

- ・ジャッキロッドは確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

●ジャッキアップのしかた

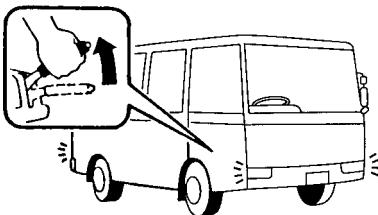
交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平らな硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。



注意

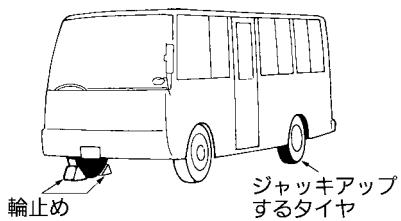
- ・やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

- ①エンジンを止めて、パーキングブレーキをかけ、オートマチック車はセレクトレバーをPに、マニュアル車はシフトレバーをRにします。

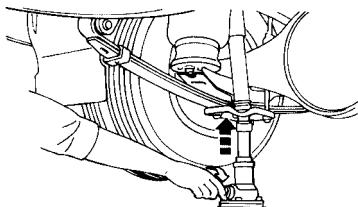


- ②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- ・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の前側と後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側と後ろ側の2箇所に置きます。



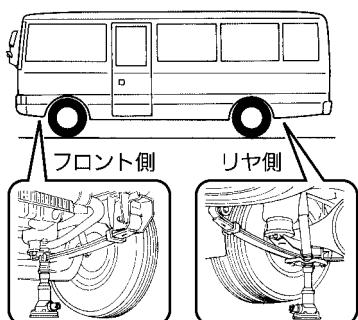
③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TSE0370Z

*後ろ側をジャッキアップする場合は、アダプターを必ず使用してください。

〈ジャッキアップポイント〉



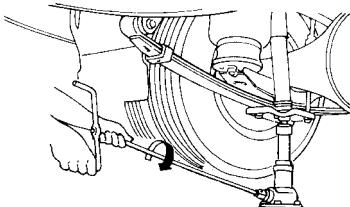
TSE0371Z



アドバイス

- ・ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TSE0372Z

*後ろ側をジャッキアップする場合は、アダプターを必ず使用してください。



注意

- ・ジャッキハンドルを回すときは、両手でしっかりと握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平らな硬い場所）に停車します。

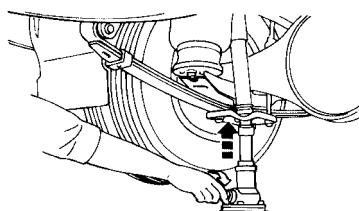
- ・人や荷物を降ろします。
- ・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
- ・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

○ジャッキアップのしかた…205
ページをお読みください。

②ジャッキをセットします。

- ・ジャッキを手で回し、ジャッキアップポイントまで上げます。
- ・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

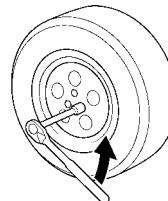
○ジャッキアップポイント…207
ページをお読みください。



TSE0370Z

*後ろ側をジャッキアップする場合は、アダプターを必ず使用してください。

③お手持ちの工具でビス(3本)を反時計回りに回して外し、ホイールカバーを外します。

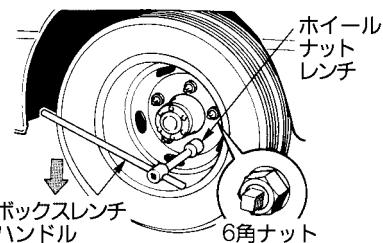


TSC1989Z

④ホイールナットレンチで全てのナットを右側のタイヤは左に、左側のタイヤは右に回し少し（約1回転）ゆるめます。

前輪及び後輪外側はホイールナットレンチの6角溝側を使用し、後輪内側は4角溝側を使用します。

*センター キャップ付車はホイールナットと共に締めになっています。先にセンター キャップを止めているナットを外し、センター キャップを外してください。

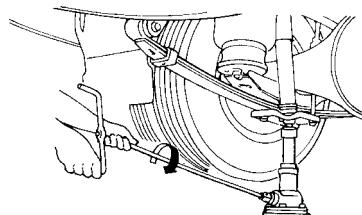


TSC1031Z

アドバイス

- ・タイヤを接地状態にして行います。

- ⑤ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



TSE0372Z

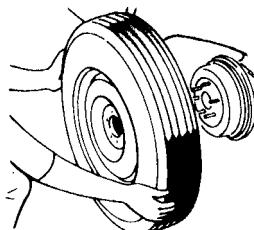
- *後ろ側をジャッキアップする場合は、アダプターを必ず使用してください。



注意

- ・ジャッキハンドルを回すときは、両手でしっかりと握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ⑥ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



TSC1281Z



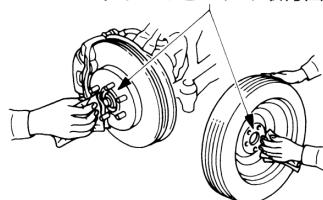
アドバイス

- ・タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にしてください。

- ⑦ハブの取付面とホイールの取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

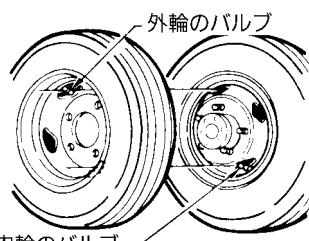
- *センターキャップ付車は、スペアタイヤを取り付けた後、センターキャップを取り付けます。

ホイールとハブの取付面



TCA0179Z

- ダブルタイヤを取り付けるときは、外輪のバルブ位置を内輪バルブの対角位置にして取り付けます。



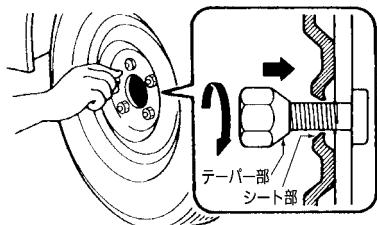
TSC1032Z



注意

- ・取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。

- ⑧ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たる程度まで、右側のタイヤは右に、左側のタイヤは左に回して締め付けます。



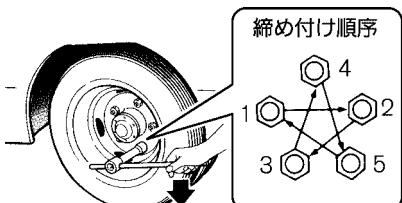
TSC1033Z



警告

- ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

- ⑨ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。
・右側のタイヤは右に、左側のタイヤは左に締め付けます。



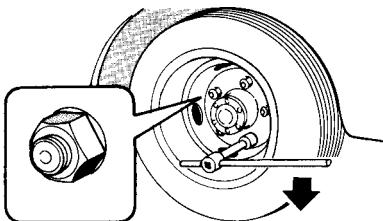
TSC1549Z

- ⑩ジャッキを下げます。

ロッドの先端に手で体重をかけ、⑨の順序で1～2回反動をつけて締め付けます。

*ホイールナット締付トルク
490N・m (50kg・m)

- ・右側のタイヤは右に、左側のタイヤは左に締め付けます。



TSC1035Z



注意

- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキロッドを両手でしっかりと握って回してください。回転中に外れると思わぬケガをするおそれがあります。



アドバイス

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。
- ホイールナットレンチはホイールナットに十分深くかけてください。ホイールナットレンチのかけたが浅いと、締め付けるときにレンチが外れ危険です。

- ⑪ホイールカバー付車はホイールカバーを取り付けます。
 - ・お手持ちの工具でビス（3本）を時計回りに締め付けます。
- ⑫パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどを元の位置に格納します。



注意

- ・タイヤを取り付けてしばらく走行した後、ナットのゆるみがないか確認してください。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

① 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

② 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

③ 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

④ 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

⑤ 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡します。